

紙面の都合上、官製談合疑惑等調査特別委員会調査報告書（以下「報告書」という）の内、官製談合成就の必須要件（意図的な指名基準の変更、非公開の最低制限価格を伝える）の部分抜粋して紹介します。肩書は当時のもの。報告書からの引用部分は【 】で表記しました。

そもそも疑惑とは？

「官製談合」の疑念を生じた原因の概略について【平成21年7月8日記者クラブに、匿名の談合情報が通報され、同9日の福祉空間工事では、その談合情報通りの株式会社浜野工務店（以後「浜野工務店」という）が落札したことから、議会運営委員会（同翌日10日）および契約議決を審議する臨時議会（同7月14日）で談合疑惑として問題にされた。

その後、主に次の事実が次第に明らかになった。濱野議員が福祉空間工事で応札をしていたこと。非公開の最低制限価格と落札額が同額であったこと（呉竹センター工事では落札額の方が5千円高い）。昨年5月に建築業種に限って格付け県3号ランクの業者を町内Aランクに格上げした（前年までAランクは県1号、2号のみ）。浜野工務店が建設業法違反の下請契約限度額（4,500万円）を超えていたこと（建設業法違反で処分）。】

意図的な「指名基準」の変更

昨年度4月22日の格付審査会では、当時の審査会長の野瀬主監から、建築で新たに県3号をAランクに上げたいと、提案。

その際、町Aランクに格上げ対象となる浜野工務

甲良民報

2010年12月19日 463号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士463
Tel.Fax38-4949



店の資本金など建設業者の免許証である建設業許可申請書類さえも確認せず。これが建設業法違反を認識しながら、浜野工務店を落札させんがための伏線と見られ、当時の審査会では全くの異論なく決定された。

「ひそひそ話じゃない」 会話を聞いた証言

【宝来証言＝「自分のところの工務店（浜野工務店）では、（中略）今度の一億円からの工事には入れてもらえないというようなことを言われました」。これは、福祉空間工事で指名業者に加えて欲しいという表現で、「これは愚痴にも聞こえましたが、ねだっているような感じで」指名選定を要求し「それに対して答えるというよりも、もう話ができているような感じでした」。

そして、議会事務局に来た野瀬主監は、山田議長、濱野副議長、村田事務局長と相談し、その方法として「地元業者育成」との理由づけに「国の通達に引っかけて何かならんのかな、いっぺん調べてみるわとか、県に聞いてみるわとか」等と話、浜野工務店をAランクに格上げし、工事の指名業者に選定する口実を話し合っていた。】

公表予定価格 + 40 万円 を浜野工務店だけに

【平成21年6月下旬から7月上旬の間、「（予定価格）その額の85%を狙ってきよるで、その隙間をいかなあかんのや」「隙間をあけるとそこに入ってきよるで、その額でいかなあかんのや。」「（公表した予定価格にプラスされた）40万円というのは他（の業者）にわからんのかな、絶対に！】【「ひそひそ話じゃないので聞こえてました」と述べ、

入札前に濱野副議長、山田議長、野瀬主監、村田議会事務局長が集まってしていた。電卓をたたきながら相談していたことも証言した。】

入札結果表（入札額の高額順に並び替え）

（地域介護福祉空間施設および子育て支援センター建設工事）

	指名業者	入札額	比率 %	1億7840万円 に対する比率
6	(株)辻正	1億7780万	99.887	99.66
5	(株)土屋細滋賀彦根支店	1億7530万	98.483	98.26
4	(株)長組	1億6500万	92.696	92.48
3	丸平建設(株)滋賀支店	1億5700万	88.202	88.00
2	淀建設工業(株)滋賀支店	1億5219万	85.500	85.30
落札	(株)浜野工務店	1億5164万	85.191	85.00
失格	(株)マルヤマ甲良営業所	1億5150万	85.112	84.92
失格	辻真建設(株)彦根支店	1億5131万	85.005	84.81
失格	岐建(株)滋賀支店	1億4780万	83.033	82.84
辞退	(株)秋村組彦根支店			
取抜き	(株)伊藤組			

公表予定価格は1億7,800万円

（公表予定価格 + 40万円 = 1億7,840万円）

失格 = 最低制限価格を下まわって入札した社

比率 = 予定価格に対する比率

最低制限価格は1億5,164万円

偽証なども刑事告発へ

12月議会最終15日、山崎前町長、野瀬元総務主監、山田議長、濱野議員を虚偽の証言容疑（地方自治法違反）の告発を全会一致で可決。同4人を競売入札妨害罪、官製談合防止法違反で速やかに告発するよう北川長町に求める意見書は賛成多数（藤堂一彦、藤堂与三郎、建部、木村、宮寄、西澤の各議員）で可決。2議案とも、金澤議員は議長席のため採決に加わらず、山田議長・濱野議員は地方自治法規定により除斥。

正義の世論が後押し

北川町長は閉会あいさつで、昨年11月の就任以来をふりかえり、百条委員会の設置からの取り組みにふれ、この12月議会で「調査報告書」が賛成多数（7対1）で可決した重みを受け止め、町民からのハガキや投書の声に応え、「関係者の刑事告発に向け弁護士と相談する」と表明。「町政はどうしてるんや」と言われないよう、今後、甲良町から明るいニュースが発信できるよう、新しい年が健康で迎えられるように、などと述べました。